



# 津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



2020～2021

例会日/毎火曜日

例会場/プラザ洞津 津市新町1-6-28

事務所/津市大門7-15

都シティ津1F

TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/何川 高

幹事/日南田隆司

E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp

ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/

## 第2610回例会 2020年10月27日(火) 天候 晴

—— 11月はロータリー財団月間 ——



### 例会予定

- 11月3日(火) 法定休日
- 11月10日(火) 月間関連卓話  
地区ロータリー財団委員長 平井 義之様
- 11月17日(火) 会員卓話 山田 俊郎会員
- 11月24日(火) 会員卓話 伊藤 歳恭会員

### 進行担当 [林SAA]

国歌斉唱 ロータリーソング それでこそロータリー

### 来訪者 [何川会長]

ゲストスピーカー 岩崎 栄一様  
(伊勢鉄道株 代表取締役専務)

米川 順子様  
(伊勢鉄道株 総務部)

### 出席報告 [庄司委員長]

10月27日 出席率 45名中 39名 86.67%

10月13日 修正出席率 45名中 45名 100.0%

### 委員会報告《親睦委員会》 [吉村委員長]

- 親睦家族例会アンケートの件

### ニコBOX [大池委員長]

- 何川 高君 本日は、伊勢鉄道代表取締役専務の岩崎様に卓話をお願いしました。興味深いお話を楽しみにしております。
- 日南田隆司君 本日は外来卓話です。伊勢鉄道株代表取締役 岩崎栄一様よりお願い申し上げます。
- 村木 正二君 岩崎さん、卓話でお世話になります！

### 会長報告

[何川会長]

- ◆ 本日のご来訪の方は、外来卓話をお願いしております、伊勢鉄道代表取締役専務でいらっしゃる岩崎栄一様でございます。どうぞよろしくお願い致します。
- ◆ さて本日10月27日は読書の日でございます。今日から11月9日までが読書週間になっておりまして、全国各地で本にまつわるイベントが行われます。コロナウイルスの流行下ではありますが、家にいることが多い中で、読書を楽しむ機会が多くなるのではないのでしょうか。最近AIの影響でスマホやタブレット、パソコンなどで本を読む人も増えているようですが、確かに本屋さんに行かなくても、読みたい本を検索して読めるのは便利です。でもやはり、書店の本棚を眺めて、興味のある本を探す楽しみは捨てがたいと思いませんか。それと本のページをめくる時のわくわくする楽しさは、捨てがたいと思うのは、私だけでしょうか。ちなみに私は、出掛けるときにカバンには必ず文庫本を入れていきますし、ベッドの枕元には、寝るときに読む別の本が用意されています。秋はスポーツの秋、食欲の秋と並んで、読書の秋と言われます。皆様も秋の夜長に、本の中のイメージの世界に浸ってみては如何でしょうか。

### 幹事報告

[日南田幹事]

- ★ 廣瀬裕司氏入会決定の件
- ★ 11月例会出席状況提出の件
- ★ 11月よりネクタイ着用の件
- ★ 次回例会は11月10日(火)の件  
(11月3日(火) 法定休日)

## 外来卓話

### 会社の紹介と移動サービスの最近

伊勢鉄道(株) 代表取締役専務  
岩崎 栄一 様



本日の卓話は、会社の紹介と、移動サービスの最近についてお話しします。

まず、会社の紹介ですが、昭和48年9月1日に伊勢線は鈴鹿市から津市、松阪市、伊勢市に至る中南勢地域開発の基幹になるとともに、中京圏と伊勢・志摩・南紀方面を結ぶ輸送力増強、観光開発並びに通勤圏の拡大による住宅地の開発に貢献する路線として開通しました。

その後、国鉄民営化に伴い、特定地方交通線として、バス転換か廃止かの選択を迫られ、県、関係市町村、民間の出資により昭和61年10月に第三セクターの伊勢鉄道として誕生しました。収支は赤字が想定され、積み立てられた基金の利子補填で対応を予定していましたが、赤字解消ができなくなってきました。しかし、快速みえの設定で、利用されるお客様が大幅に増え、近年は収支均衡となっています。

最近では新型コロナの影響で収入は前年の3割ほどと悪い状況ですが、同じような状況になっている第3セクター等協議会に属している鉄道会社40社で鉄印帳という企画をはじめ、新型コロナの中ですが大変好調な状況となっています。鉄印帳とは神社等で集める御朱印帳の鉄道版で、各参加されている鉄道会社を巡り、鉄印を集めます。当社の鉄印は、伊勢型紙協同組合のご協力三重県をモチーフにした図案で職人さんの手作りです。

会社の紹介はこれまでにして、次に移動サービスの最近についてお話しします。

まず、BRT（バス高速輸送システム）について

お話しします。

都心部近くは、通勤等で各郊外からくるバスが競合し、大幅な遅延が発生しますが、混雑区間をバス専用、優先レーンとして専用バス等で運行すれば、郊外からのバスの競合がなくなり、遅延の発生も抑えられるというものです。ただし、乗り換えが発生するデメリットもあります。

次にLRTについてお話しします。

これは、市内電車の進化系と考えてください。電気方式なので、高い環境性（CO<sub>2</sub>排出量が自家用車の10分の1）及び省エネであり、需要に応じてフレキシブルに列車編成量数を変えることができます。また、超低床車両なので、道路から直接乗降でき、車いすご利用者や、高齢者等にも容易に利用可能であり、乗降所もバス停等に比べはるかにわかりやすいなど人と環境にやさしい公共交通として再評価されています。最近では、宇都宮市がLRTを導入し、コンパクトなまちづくりを目指しています。

最後に、この部分が一番話したかったことですがMaaSについてお話しします。

MaaSとはすべての交通手段による移動を一つのサービスに統合し、予約から支払いまでシームレスにつなぐ新たな移動の概念です。例えば、ここからある場所に行きたいとスマートフォン等で入力すれば、可能なルートが提示され、バス、タクシー等の交通機関の予約も支払いもでき、案内に従って簡単に移動ができるようになります。

世界では、フィンランドが先行していますが、日本では2018年に「未来投資戦略2018」で閣議決定され始まったばかりです。2019年からは先行モデルとして大都市近郊型・地方都市型、地方郊外・過疎地型、観光地型のパターンで全国の19か所で試行されており、的確な問題点等が抽出され、次のステップにつながることを期待し、私の話は終わりにさせていただきます。

大川 吉崇君 • 伊勢鉄道専務の岩崎様をお迎えしましたの卓話、楽しみに拝聴させていただきます。新社長と共にご活躍ください。  
• 幼稚園や保育園の運動会、天候に恵まれほぼ済みました。かわいい中にたくましさ一杯でした。

伊勢鉄道(株)代表取締役専務 岩崎栄一様をお迎えして、千原一典君、杉山直士君、林 裕行君、西井健之君、山本哲司君、吉村哲夫君、高林 学君、伊藤 仁君、鈴木康義君、伊藤孝行君、大池雅之君、羽根昌江君、松田英明君、竹内敏明君、川喜田久君、栗田 明君、田島和雄君、宮崎吉史君、澤田勝志君、伊藤歳恭君、山本哲也君、岡部宏司君、今野信太郎君